
新メカニズム情報プラットフォーム メールマガジン 第 63 号 (2014 年 12 月 1 日発行)

こんにちは。

新メカニズム情報プラットフォーム事務局です。

◇トピックス◇

■□ COP20/CMP10 日本パビリオンにおける JCM 関連サイドイベント

◆COP20/CMP10 日本パビリオンにおける JCM 関連サイドイベント◆

COP20/CMP10 日本パビリオンにおいて、下記のとおり JCM に関連するサイドイベントが開催されます。ペルー・リマにいらっしゃる方は奮ってお越しください。

イベント一覧、アジェンダ、発表資料、開催報告はこちらをご覧ください。

⇒ http://www.mmechanisms.org/cop20_japanpavilion/

◇12月2日(火)◇

13:00-14:30 「二国間クレジット制度(JCM)を活用した都市における GHG 削減プロジェクトの開発(ベトナム・ホーチミン市、及びラオス・ビエンチャン市の事例)」

主催：公益財団法人 地球環境センター (GEC)

目的・概要：二国間クレジット制度(JCM)の大規模展開(面的・パッケージ的な展開を含む)を目指して、環境省受託により実施している都市関連事業の事例紹介を行い、都市レベルでの低炭素化を促進する取組を広めるとともに、JCM プロジェクトの開発ポテンシャルが都市部に多く存在することから、更なる JCM プロジェクト候補案件の開発を促す。また、このような取組を紹介することにより、開発途上国が現在あるいは近い将来に直面する都市化問題の解決に、JCM を活用できる可能性を示す。

本イベントでは、主催者 GEC が実施する、ホーチミン市・大阪市連携事業、及びビエンチャン特別市・京都市連携事業を紹介し、その中で組成された具体的事例も踏まえ、ホスト国側からの見解・期待を述べて、JCM の実施が開発途上国、特に都市における持続可能な開発に貢献できることを示す。

◇12月3日（火）◇

15:00-16:30 「カンボジア・シェムリアップ市アンコール遺跡地域、モンゴル・ウランバートル市を中心とした主要電力系統における JCM 大規模 FS の紹介」

主催：一般社団法人 海外環境協力センター（OECC）

目的・概要：カンボジア環境省及びモンゴル環境省をスピーカーにお招きし、シェムリアップ市及びウランバートル市で実施中の JCM 大規模案件形成可能性調査事業「アンコール遺跡地域における JCM を活用した環境文化都市形成支援調査」及び「ウランバートル市の発電送配電における案件組成及び他都市発電システムに対する水平展開可能性調査」を紹介する。

アジェンダ（英文）はこちらをご覧ください。

⇒http://www.mmechanisms.org/cop20_japanpavilion/files/20141203_1500_agenda.pdf

◇12月4日（水）◇

15:00-16:30 「REDD+/JCM の MRV への我が国のリモートセンシング技術からの貢献」

主催／共催：一般財団法人 リモート・センシング技術センター（RESTEC）、独立行政法人 森林総合研究所、独立行政法人 国際協力機構（JICA）、独立行政法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）

目的・概要：REDD+や JCM の MRV において重要となる温室効果ガス削減量の測定、報告及び検証（MRV）に貢献する日本の最先端のリモートセンシング技術を紹介する。特に本イベントでは、プロジェクトの経験を踏まえたリモートセンシング技術への期待、期待に応える

日本のリモートセンシング技術、そして、リモートセンシング技術を活用した事例という流れで、リモートセンシング技術に精通していない参加者に対し系統的に紹介する。

◇12月6日（土）◇

15:00-15:45 「パラオ共和国における低炭素型島作りへ向けた取組み事例報告」

主催：株式会社アミタ持続可能経済研究所

目的・概要：日本が協力して行うパラオ共和国における低炭素型島作りに向けた各種の取組みについて紹介を行うとともに、その取組み事例として主催者が推進する「包括的資源循環システム構築」プロジェクトの事業性調査の実施状況について報告する。

◇12月9日（火）◇

13:00-14:30 「インドネシア国スラバヤ市での低炭素化事業形成：二国間クレジット制度（JCM）の活用と北九州市との都市間連携を通じて」

主催：公益財団法人 地球環境戦略研究機関（IGES）

目的・概要：JCM スキーム及び北九州市との連携を活かしたスラバヤ市での低炭素化事業形成状況の紹介を行う。

17:00-17:45 「二国間クレジット制度（JCM）のモデルプロジェクト及び方法論の開発」

主催：公益財団法人 地球環境センター（GEC）

目的・概要：JCM の概要、環境省 JCM 設備補助事業及び JCM 実現可能性調査の成果を紹介する。

今年10月には、日・インドネシア合同委員会において、2013年にJCMを開始以降初めてと

なる JCM プロジェクトが登録された。今回プロジェクト参加者より JCM 方法論の開発、PDD の作成、妥当性確認などのプロジェクト登録までの経験を紹介する。

アジェンダ（英文）はこちらをご覧ください。

⇒ http://www.mmechanisms.org/cop20_japanpavilion/files/20141209_1700_agenda.pdf

◇12月10日（水）◇

10:00-11:30 「低炭素技術による低炭素成長～実証・普及のあり方」

主催／共催：独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）、国際連合工業開発機関（UNIDO）

目的・概要：低炭素成長の実現に向けて、NEDO および UNIDO が実施しているエネルギー・環境技術の実証・普及活動について、JCM（Joint Crediting Mechanism）の活用も交えて紹介する。また、低炭素成長の実現のため、技術の貢献やプロジェクト推進のポイント等について、イベント参加者間で意見交換を図る。

17:00-17:40 「JCM 署名国会合」

主催：日本国政府

◆メールマガジン・その他問い合わせは、事務局までメールにてご連絡ください。

info@mmechanisms.org

◆メール配信停止ご希望の方は、以下のページの「配信停止」より手続きください。

<http://www.mmechanisms.org/newsletter/index.html>

■□発行・編集□■

新メカニズム情報プラットフォーム事務局
一般社団法人海外環境協力センター（OECC）

2014年6月2日より、下記住所に移転しました
〒105-0003 東京都港区西新橋3-25-33 NP 御成門ビル3階

URL: <http://www.mmechanisms.org> / e-mail: info@mmechanisms.org

※このメールの記載内容の無断転載、無断複製を禁じます。